



朝阳地区

# 社協だより

覧  
R2.9.1

隣近所、支え合い住んで良かった朝陽地区！

No.52

発行 朝陽地区社会福祉協議会  
 共催 朝陽地区住民自治協議会  
 社会福祉部会  
 長野市大字北尾張部226-9

## 令和2年度事業

朝陽地区社会福祉協議会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和2年度の活動に向けた評議委員会も中止となり、変則スタートになりました。

令和2年度の役員体制は表の通りに決定いたしました。4月、5月の計画事業は殆ど中止となりましたが、5月25日の感染症緊急事態宣言解除後は、市の施設利用ルールにより、徐々に事業も開催が出来るようになってきました。

### 朝陽地区社会福祉協議会 令和2年度 役員体制

役職名	氏名	所属
顧問	西脇 かおる	長野市市議会議員
相談役	山田 千代子	前会長
会長	宮澤 康幸	北尾張部区推薦理事
副会長	千野 登	北堀区推薦理事
//	水野 親司	北長池区推薦理事
//	今井 寛明	北長池区選出（区長推薦）（社会福祉部会長）
//	栗原 満	区長会会长（北尾張部区長）
//	篠原 好明	民生児童委員協議会会长（兼）
理事	本藤 豊	南屋島区推薦理事
//	小林 和広	北屋島区推薦理事
//	横田 八重子	石渡区推薦理事
//	藤井 良一	南堀区推薦理事
//	大日向 斎	桜新町区推薦理事
//	高野 豊	長野市立朝陽公民館長
//	藤倉 喜一	地域公民館連絡会会长
//	上松 則子	赤十字奉仕団朝陽分団委員長
//	田淵 義昌	長寿会連合会会长

早く  
コロナが終息しますように



## 長野市地域福祉推進セミナー 開催

地域福祉に関する関係者が集まり、地域福祉活動の在り方について意見交換や情報共有を図っています。令和2年度は6月19日(金)若里市民文化ホールで開催されました。

昨年の台風災害で大きな被害をうけた豊野地区、松代地区の福祉ワーカーやコーディネーターから、「つながり」や「支え合い」の報告がありました。

後半は、昨年と同じ特定非営利法人さくらネット代表理事の石井布紀子氏のパネルディスカッションが行われ普段から地域づくりに必要な視点の大切さが強調されておりました。



## オレンジカフェきたほり 再開



参加希望が大変多く、地域の高齢者の集まり場所として定着してきたオレンジカフェきたほりは、新型コロナウイルス感染症の影響で、3月、4月、5月は中止となっていました。

緊急事態宣言が5月25日に解除され、オレンジカフェきたほりは、6月から再開しました。スタッフは「3密防止」、マスク着用、消毒、検温等々のルールを徹底して行っていました。

7月25日のオレンジカフェきたほりでは、参加者もスタッフも無理をしないように、地域の岩島さん、北村さんのご協力で、ギター、ケーナの演奏会が開かれました。

参加者も声を大きく出して楽しいコンサートが理想でしょうが、今回は少し我慢してもらい、心の中で歌い楽しいひと時を過ごしました。

## 令和2年度 福祉推進員研修会

通常年度初めに開いている、福祉推進員の研修会を7月12日午後1時30分から、朝陽公民館・体育館で開催しました。

研修内容は講演が2本です。

最初は「福祉推進員の活動について」講師は長野市社会福祉協議会・地域福祉課主任、松岡伸樹氏。

身近な地域の中で「人と人のつながり」作るのが福祉推進員の役割、普段の生活の中で気づき、それを受け止め、課題を専門機関につなげる役割。。。それが福祉推進員の仕事のこと。

2本目の講演は「地域支え合い活動の展開」講師は社会福祉部会長の今井寛明氏。

朝陽地区第二次地域福祉計画、協議体「ささえあさひ」を中心に説明を受けました。

コロナ禍の中でも、各公民館に投書箱「なんでポスト」を置き、住民との対話を図る目玉事業の説明もありました。

